

教科	科目	必修・選択	履修条件	単位数	開講学習期間
地理歴史	地理総合	必修	なし	2単位	1・2・3
開講曜日	開講時間数	必要時間数	必要一斉時間数	テスト回数	レポート枚数
日曜	8時間	3時間	2時間	2回	7枚

### 科目紹介と履修上のアドバイス

中学校社会科「地理的分野」は、高等学校地理歴史科では「地理総合」と「地理探究」に分かれます。「地理総合」では、地理学を学ぶ上での基礎的な知識を「歴史（歴史総合）」や「公民（公共）」の基礎事項と関連させながら学びます。

地理総合は、大きく3部に分けて学習を進めます。第一部（No.1）は基本的な地図の見方と活用方法、日本と外国との交わり（貿易、観光など）について学びます。第二部（No.2～No.5）は、国や地域の地理的条件に着目し、各地域で展開された歴史や現在抱えている社会課題について学びます。第三部（No.6～No.7）は、国際社会における課題や防災（火山、地震など）について学びます。

土地の特性に注目して解明されることを、皆さんはどんな場面で活用しますか？

教科書	高等学校 新地理総合 (帝国書院)	学習書	カリスマ講師の日本一成績が上がる！ 魔法の地理総合ノート (KADOKAWA)
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性などを理解しているとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、多面的・多角的に考察している。地理的な課題の解決に向けて考察したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。	地理に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。

### 面接指導計画

回	学習内容	教科書ページ	レポート	回	学習内容	教科書ページ	レポート
第1回	地図や地理情報システムで捉える現代世界	6-35	1	第5回	(1)生活文化の多様性と国際理解④	120-137	5
第2回	国際理解と国際協力 (1)生活文化の多様性と国際理解①	44-81	2	第6回	(2)地球的課題と国際協力	146-188	6
第3回	(1)生活文化の多様性と国際理解②	86-101	3	第7回	持続可能な地域づくりと私たち (1)自然環境と防災	190-227	7
第4回	(1)生活文化の多様性と国際理解③	102-119	4	第8回	(2)生活圏の調査と地域の展望		7
テスト	レポートNo.1～No.4			テスト	レポートNo.5～No.7		